

7月号 第57号

発行日 : 2021年6月22日

発行 : 虹技株式会社

環境安全管理部 環境管理G

姫路市大津区勘兵衛町4丁目1

☎ 079-236-3224

# 「虹の森」通信

**朝晩は** 涼しいのですが、日中はなかなかの暑さですね。早い梅雨入りながら、長雨が続く事もなくゆっくりと夏に向かっていくようです。猛暑への身体慣らしにちょうど良いかもしれません。

タイトルバックはモリアオガエルのお昼寝です。卵を産んだ後なのだそうで、もう、くたくたっ！というところでしょうか。これが木の枝に産み付けた卵



の泡です。泡の真下には落下するオタマジャクシを待ち受けるアカハラなどの悪い奴らがいます。

下の写真は雨が続いて葉っぱの下から出てきたオケマイマイです。普通のカタツムリとは違い、いつもは葉っぱの下にひっそり隠れているので、このショットはレアですね。その形状は平べったく、凸レンズのような形で、特にユニークなのはカラの周りにまつ毛のような毛が生えているところです。この毛、いったいどんな役目を果たすのでしょうか。でも、年取っちゃうと毛は取れちゃってつるつるになるらしいです(人間もそんな人いるけどネ・・)。なら、何の目的で生えてたんだよと突っ込みたくなります。



この可憐な花は、ユキノシタです。語源は当然「雪の下」だと思ったら、諸説あるらしく、「雪の舌」という説もあるとか。葉っぱは民間薬として様々な薬効があり、山菜として天ぷらにしても美味しいそうです。花言葉は「情愛」。可憐なだけではない優等生です。



それとは正反対の、テイカカツラの花です。漢方では薬効があるとされていますが、強い毒性があるので間違っても食べてはダメです。名前の由来は室町末期に創られた能の物語から。イケメン歌人・藤原定家(ふじわらのていか)と公家のお姫様との愛欲地獄のお話。二人はどろどろの末、死を遂げるのですが、お姫様の墓に定家がカズラとなって絡みつき、それを嫌ったお姫さまの霊が、旅の僧に助けを求めます。読経の功德によって開放されますが、感謝の舞を披露すると、自らの衰えを恥じ定家と苦海で生きることを選びます。霊は自らお墓に戻り、その後カズラがお墓をぐるぐる巻きにして物語は終わります。ゲゲッ、怖い花。

# ◆ 虹技の年間環境報告 ◆

2020年度の環境関係データがまとまりましたので、皆さんに報告いたします。昨年度はなにしろコロナ不況のあおりを受け、生産量がガタッと減ったので当然、企業としての生産活動が減速し、イコール環境影響も少なくなっています。なので数字上、減少したように見えますがそういう事情をご理解願います。むしろ原単位では悪くなっていると考えられるので、今後も環境影響を増やさない努力をお願いいたします。

## ●処理した産業廃棄物

### 4. 5千トン（前年度5.4千トン）

前年度と比較してなんと1千トンも減少しています。その大半を占める鉱さい（砂ダスト、廃砂、ノロ、耐火材くず等）は、悲しいかな生産量と比例するので、単に生産量の減少が要因です。しかしながら、その再生率（埋め立て処分以外の率）は、前年度実績83%からググッとUPの92%にまで上げることができました。これもひとえに皆さま方が、バツカンでの分別集約を徹底して行って下さった結果です。環境管理Gとして感謝申し上げます。今年度はあと8%を、少しでも減らすべく頑張ってます。皆さんにも、廃棄物の発生量削減に一層頑張ってもらって取り組んでいただきたくお願い申し上げます。

## ●大気に放出したCO<sub>2</sub>

### 2万8千トン（前年度3万7千トン）

CO<sub>2</sub>問題は、菅総理がその削減を政府の一大目標に掲げてから、あれよあれよと大きなうねりを起こし、もはや逃れることのできない社会現象となりました。虹技としては辛いところです。だって、虹技が鉄を溶かすのはそのほとんどが電気だから。それがCO<sub>2</sub>を少なからず出しているのだから、どうしようもない。

取るべき方法は2つ、「高額でもCO<sub>2</sub>を出さない電気を調達する」か「排出量分のCO<sub>2</sub>排出権を買う」

だけです。どちらを選ぶにせよ、お金のかかるハナシになるので、その費用増加を吸収できるウルトラCを考え出すか、もしくは価格転嫁をお客様にご納得いただくか、そこは経営のかじ取りが問われるところです。CO<sub>2</sub>削減に対する世界の要求は、もはや環境問題ではなく経済・国際問題となっています。炭素税も1万円/トンで検討されるとの新聞記事も出ましたし、これを無視したり、あるいは軽んじて策を講じない場合には、企業そのものの存続が危ぶまれることになりかねません。

## ●工場から出した排水量

### 33万3千トン（前年度33万3千トン）

pH値 東工場:6.69~7.43(前年度6.74~7.42)

西工場:6.47~7.90(前年度6.43~7.71)

COD 負荷量（水の有機的な汚れの指数）

平均2.8kg/日（前年度3.5）

SS 負荷量（水の濁り具合を表す指数）

平均6.2kg/日（前年度5.6）

n-Hex（水に混じった油分や農薬などの成分）

最大0.51mg/L（前年度0.61）

工場排水に関しては、ほとんどが炉の冷却循環水のブロー水です。なので、これは生産量と比例しません。砂の汚れは、排水処理施設でちゃんと取り除き、pH調整をしてから河川に放流してるので、環境を汚すことはありません。

## ●窒素酸化物量

699Nm<sup>3</sup>（前年度786Nm<sup>3</sup>）

## ●硫黄酸化物量

14Nm<sup>3</sup>（前年度58Nm<sup>3</sup>）

これらの数字はガクッと減っていますが、どちらの物質もキュボラからの発生がメインで、キュボラ操業が1回だけだったことが大きいです。かつては、大気汚染の代表選手だった両物質も、今は問題視するほどのレベルではなくなっています。

# 環境爺(びびい)のつぶやきコラム



ぶつぶつ

った田舎での発生が相次いで報告されておる。これはどういうことかの？

さっきの虹技環境報告にあった通り、かつて大気汚染の代表であったSO<sub>x</sub>とNO<sub>x</sub>は、問題にならんほどの少ない発生量じゃ。問題はむしろ害毒物質とは言えないCO<sub>2</sub>ばかりじゃよ。

若い者にはなじみがないかもしれないが、<sup>コウカガク</sup>「光化学スモッグ」なる言葉を知らんかの。大気汚染がひどかった1970年ごろに生み出された言葉で、大気が春がすみのようにぼんやりと曇ってしまう状態の公害じゃ。人為的な大気汚染が原因であるとされ、光化学スモッグが発生すると、公害汚染の指標であるかのように大騒ぎしておった。しかも、人体への影響とは目がチカチカするとか、コンコン咳が出る程度であったにも関わらず、重大な健康被害を及ぼすかの如く行政・マスコミが騒ぎ立て、注意報じゃ警報じゃと制度を作り、その挙句、悪の根源を有害ガスだと決めつけ、その犯人とされる工場に多大なる規制をかけたのじゃ。

当時の目がチカチカなんぞ、夏場の太陽光では今思えば当たり前じゃ。わしなんぞ太陽光で白目をやけどをして水膨れになる体質なのでサンカット眼鏡は必需品じゃ。コンコン咳が出るなんぞ春先の花粉に比べればたかが知れておる。今どきの花粉症の苦しみから考えるとごくごくささやかな症状じゃ。責任を逃れたい行政と、視聴率ありきのマスコミによって誇張され、その結果様々な規制法を作ってしまうたのじゃよ。

あれから時は過ぎ、現在、工場からのSO<sub>x</sub> NO<sub>x</sub>等の有害物質は排出されなくなった。自動車の台数は増えたものの、その排気ガスは飛躍的にきれいになった。都会と言えど大気はとても清浄になったと誰もが実感しておると思うがな。しかしじゃ。なのに、光化学スモッグの発生は、実はあんまり減っておらんじゃ。なんと、かつては測定の対象外じゃ

そもそもじゃ、光化学スモッグの原因物質の約9割は光化学オキシダントつまりO<sub>3</sub>のオゾンじゃ。そう、地球を有害紫外線から守ってくれているあのオゾンじゃ。オゾンは自然界では発生しにくい物質じゃが、広大な範囲で地球を覆っていることからわかるように、常にどこかで発生し、オゾン層まで到達しておるのは間違いない。つまりじゃ、オゾンが原因の光化学スモッグなるものは春がすみの様な、ひとつの自然現象ではなかろうかということじゃ。

その誕生から50年余り経た今、環境の関係者らはそう思い始めておる。これは大きな間違いだったかなとな。ところが行政やマスコミは認めようとせん。いろんな化学式を駆使して、是が非でも有害排気ガスこそが光化学スモッグの原因であるという姿勢を未だ崩さず、50年前に勘違いで作った基準と方策を工場に押し付けてくるのじゃ。

知っておるか？ 光化学スモッグ警報が発令されたら虹技の工場は操業を止めにならんじゃ。工場から出る排ガスが原因じゃないことは明白なのに。それは、春がすみだから操業を止めるとか、花粉症が出たら操業を止めると言ってるようなものじゃのお。

50年も前の、勘違い制度に今もなおしがみついている行政は、もはや思考停止しておるのかと言いたいわい。ちょうどこのコロナ騒動も同じじゃ。

先日、福岡のラーメンチェーン店の社長が日経新聞の朝刊に1面ぶち抜きの意見広告を出して、コロナ騒動を非難・批判しておったのお。まことにあっぱれじゃ。日本にはまだ待がおったのじゃな。今回述べた光化学スモッグの規制についても誰か声を上げとくれ。思考停止の規制には従わぬ！  
とな・・・

ぶつぶつ

## 虹の森なう

今回ばかりは、コロナ騒動を押し切って活動を行うと覚

悟を決めて満を持していたのに、なんと雨!!! 梅雨真っ盛りだから致し方ないのですが、残念無念でした。虹の森ではタケニグサやヤブレガサなどの下草が、潤沢な水を吸って大きく茂り始めています。あまり大きくなならないうちに刈り払いしておきたかったのね。

虹の森の看板なのですが、ちょっとやられて来ています。3年前に塗装し直したのですが、もう剥げて来ちゃって、そろそろまた塗り替えをしなくちゃと思うところです。この看板ですが、今ではとても手に入らないとされているとても希少な天然チーク材の一枚板で作られています。チーク材は木材の宝石と呼ばれるほどで、堅く強靱、耐久性があり病害虫にも強く、欧風家具などアンティークと言われるものによく使われています。



看板のこの書は、経理Gの大柿さんにしたためてもらい、それをデジタルスキャンしてNCデータに落とし、マシニングセンターで掘り込み加工をしています。書の細部まで実に忠実に再現した彫り物で、ちょっとした芸術品なのです。一度見に来てくださいね、



その価値はあると思います。

直射日光が暑い季節になりましたが、木陰の中の森は、良く手入れした木々の間をさわやかな風が吹き抜けて涼しいくらいです。

そうそう、森の様子を見に行った際、鳥のさえずりに集中していたら、ウグイスの高らかな声に混じって、あの「ツキヒーホシ ホイホイホイ」が聞こえました。そうですサンコチョウのさえずりです。

その姿を確認することはできませんでしたが、あの特徴ある鳴き声は間違いなくサンコチョウです。虹の森にサンコチョウがいる!! なんかうれしいです。



## 第69回 森林整備の案内と参加者募集

前回は、天気予報が強い雨と予想していたので中止をしたのですが結局大した雨ではなく、十分に活動できたかなと反省しました。ま、コロナの再々延長もあったので及び腰だったのですがね。さて来月は緊急事態が解かれて初の活動です。まだまだ暑いでしょうから少々の雨でも決行しますよ。その方が涼しいんだもの。

**日時：** 7月10日(土) 10:00~15:00 (9:30公園駐車場集合)

**場所：** 県立ゆめさきの森公園(虹の森)

**申し込み：** 参加希望者は、環境管理G 的場まで、またはお近くにいるメンバーまで連絡ください。

的場ケータイ：090-5979-8385

メンバーの方はショートメール等で参加の可否を連絡いただければありがたいです。

初めて参加される方は、保険に加入しますのでお名前、住所、ケータイ番号を連絡ください。